



## 避難訓練・引き渡し訓練

5月25日、地震想定での避難訓練と引き渡し訓練を行いました。

私は、教師になって2度の大きな地震を経験しています。採用2年目(昭和58年)の日本海中部地震、そして6年前の東日本大震災です。日本海中部地震では、合川南小学校の児童13名が津波の犠牲となり、東日本大震災では、大川小学校の74名(108名中)の児童をはじめとして、多くの尊い命が奪われてしまいました。大切な子どもたちの命を守るために、そして地震から子どもたち自身が自分の命を守るために必要な知識を身に付けさせておかなければなりません。

東日本大震災で、釜石市では児童、生徒が誰一人も命を失いませんでした。「釜石の奇跡」と言われています。その釜石で子どもたちが自分で自分の命を守ることができるよう日頃から徹底して指導していたことが、次の三つです。子どもたちの心に留めておいてほしいことです。

・率先避難者たれ！ ・想定にとられるな！ ・全力を尽くせ！

また、引き渡し訓練では、農繁期の多忙の中ご協力をいただきました。ありがとうございました。



1年生も真剣に取り組みました

## 校地整備, 田植えでのご協力 ありがとうございました

5月25日に、午後5時からおよそ1時間半の校地整備作業を行いました。校庭道路側溝の泥上げ、砂場の整地、木々の剪定、校舎周りの石やブロック類の除去、花壇の草取り等に多くの保護者の皆さんからご協力をいただき、おかげさまで校舎周りが大変すっきりとしました。作業の最後は、前庭花壇の草むしりを保護者、職員、そしてお手伝いに来た児童で談笑しながらの作業となりました。ここでもまた内小友のよさを実感しました。



そして、30日は全校田植えでした。JA内小友支店から支店長の菊地さん、営農センターの老松さん、戸澤さんにお出でいただき、苗の準備や植え方の指導をしていただきました。そして保護者の皆さんやおじいちゃん、おばあちゃん、13名の方々からご協力をいただきました。

田植えが初めての1年生は、はじめは泥の中に入るのもこわがっていたようですが、慣れるにしたがい徐々に植え方も上手になっていました。他の学年も、歓声を上げながらも丁寧に植え、営農センターの方々からも「植え方が他の学校より上手です。」とお褒めの言葉をいただきました。植え直しもほとんど必要がなく、上手に植えることができました。



今後は、稲を観察しながら収穫するまでの大変さにも気付かせ、食の大切さにも心を向けさせていきたいものと考えています。